

決算ハイライト
2023年3月期
第3四半期

決算ハイライト

2023年3月期 第3四半期

CONTENTS

1. 損益の状況	1
(1) 業績サマリー【単体】	1
(2) コア業務粗利益【単体】	2
(3) 経費【単体】	2
(4) コア業務純益・コア業務純益（除く投資信託解約損益）【単体】	2
(5) 与信費用【単体】	3
(6) 経常利益・四半期純利益【単体】	3
2. 貸出金・預金等の状況	4
(1) 貸出金残高【単体】	4
(2) 預金等残高【単体】	4
(3) 預り資産残高【単体】	4
3. 不良債権の状況（金融再生法開示債権額）【単体】	5
4. 時価のある有価証券の評価損益【単体】	5

1. 損益の状況

(1) 業績サマリー【単体】

- ▶ **コア業務純益(除く投資信託解約損益)**は、投資信託解約損益を除く有価証券利息配当金が1億43百万円減少し、また、その他業務利益(国債等債券損益を除く)が1億41百万円減少したものの、役務取引等利益が3億58百万円増加したこと、また、経費が1億19百万円減少したことなどにより、**前年同期対比1億31百万円増加の12億80百万円**となりました。
- ▶ **経常利益**は、有価証券利息配当金のうちの投資信託解約損益が1億48百万円減少、国債等債券損益が1億91百万円減少、また、株式等損益が1億54百万円減少した一方、与信費用が5億75百万円増加したことなどにより、**前年同期対比9億59百万円減少の10億87百万円**となりました。
- ▶ **四半期純利益**は、**前年同期対比6億74百万円減少の7億26百万円**となりました。

■ 単体業績サマリー

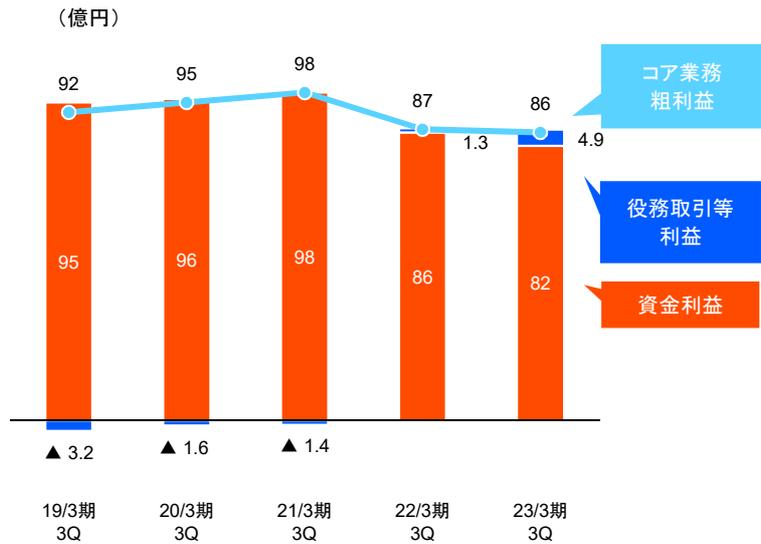
(単位:百万円)	2022年3月期	2023年3月期	前年同期対比	通期業績予想
	第3四半期	第3四半期		
資金利益	8,633	8,279	▲ 354	—
貸出金利息	5,706	5,664	▲ 42	—
有価証券利息配当金	2,927	2,636	▲ 291	—
うち 投資信託解約損益	371	223	▲ 148	—
うち 投資信託解約損益を除く	2,555	2,412	▲ 143	—
役務取引等利益	139	497	358	—
その他業務利益(除く国債等債券損益)	▲ 24	▲ 165	▲ 141	—
コア業務粗利益	8,748	8,612	▲ 136	—
△ 経費(除く臨時費用分)	7,227	7,108	▲ 119	—
コア業務純益 *1	1,521	1,503	▲ 18	—
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	1,149	1,280	131	1,650
国債等債券損益(5勘定戻)	▲ 191	▲ 382	▲ 191	—
株式等損益(3勘定戻)	315	161	▲ 154	—
△ 与信費用 *2	▲ 144	431	575	—
その他臨時損益	256	238	▲ 18	—
経常利益	2,046	1,087	▲ 959	1,450
特別損益	▲ 1	1	2	—
税引前四半期純利益	2,045	1,089	▲ 956	—
四半期純利益	1,400	726	▲ 674	1,000

*1 コア業務純益 = 資金利益 + 役務取引等利益 + その他業務利益 - 国債等債券損益 - 経費

*2 与信費用 = 不良債権処理額 + 一般貸倒引当金繰入額

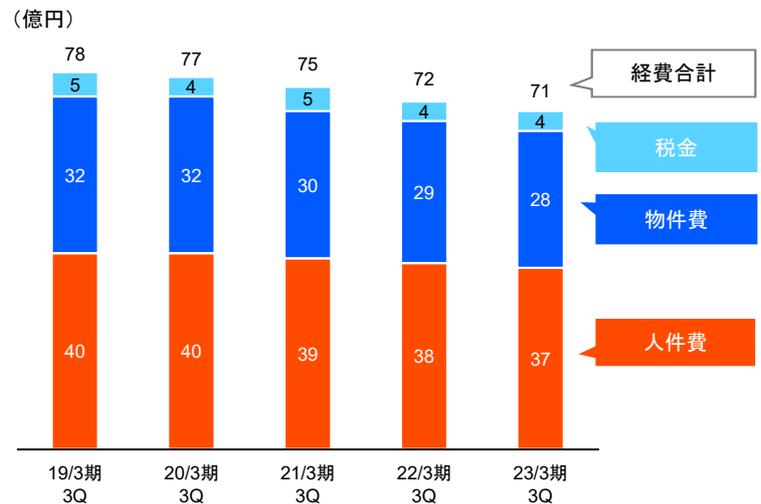
(2)コア業務粗利益【単体】

- ▶ コア業務粗利益は、前年同期対比1億36百万円減少の86億12百万円となりました。
- ▶ 資金利益は、前年同期対比3億54百万円減少の82億79百万円となりました。
- ▶ 役務取引等利益は、ローン関係手数料の増加などにより、前年同期対比3億58百万円増加の4億97百万円となりました。



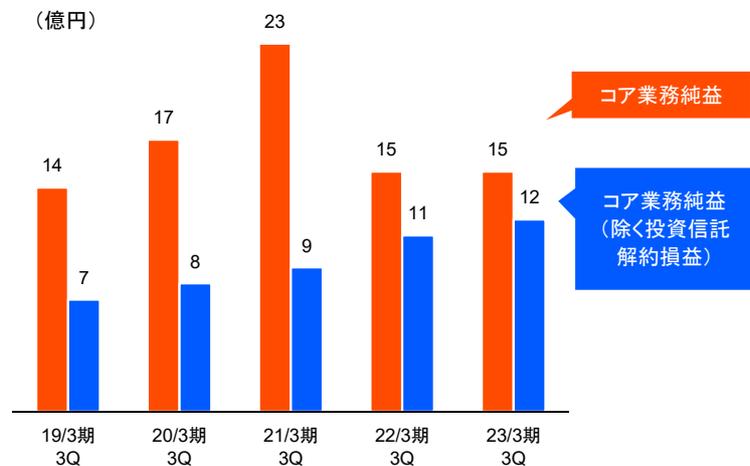
(3)経費【単体】

- ▶ 経費は、前年同期対比1億19百万円減少の71億8百万円となりました。
- ▶ 人件費は、前年同期対比14百万円減少の37億97百万円となりました。
- ▶ 物件費は、前年同期対比76百万円減少の28億57百万円となりました。



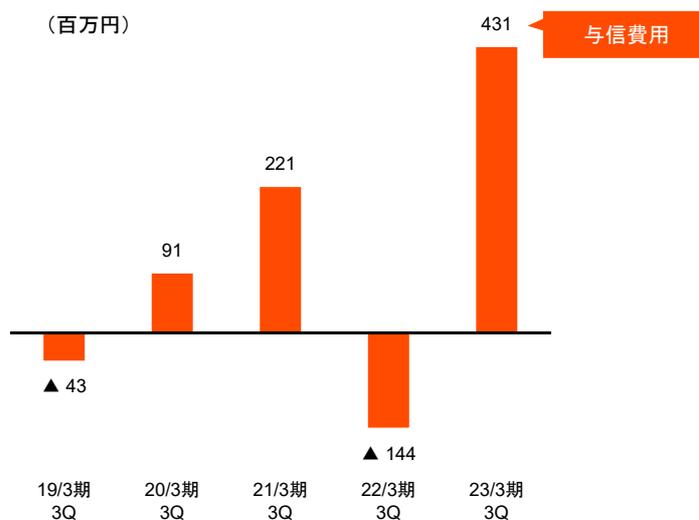
(4)コア業務純益・コア業務純益(除く投資信託解約損益)【単体】

- ▶ コア業務純益は、前年同期対比18百万円減少の15億3百万円となりました。
- ▶ コア業務純益(除く投資信託解約損益)は、前年同期対比1億31百万円増加の12億80百万円となりました。



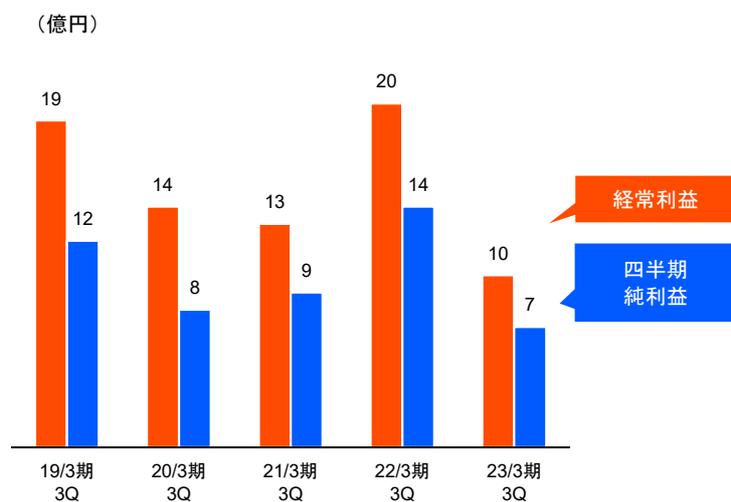
(5) 与信費用【単体】

- ▶ 与信費用は、前年同期は事業支援による与信先のランクアップがあったことなどにより戻入となりましたが、当期は大口与信先のランクダウンがあったことなどから、前年同期対比5億75百万円増加の4億31百万円となりました。



(6) 経常利益・四半期純利益【単体】

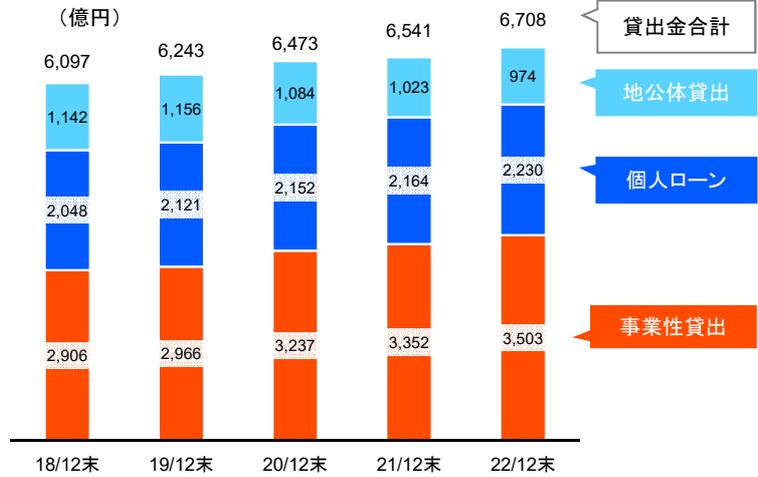
- ▶ 経常利益は、前年同期対比9億59百万円減少の10億87百万円となりました。
- ▶ 四半期純利益は、前年同期対比6億74百万円減少の7億26百万円となりました。



2. 貸出金・預金等の状況

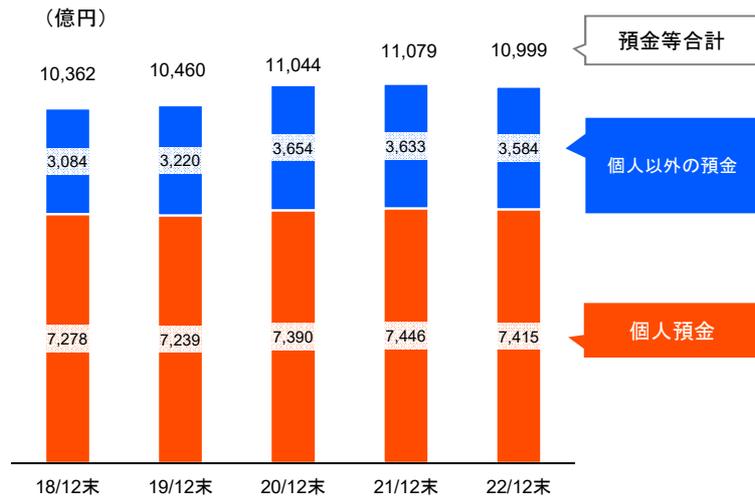
(1) 貸出金残高【単体】

- ▶ 貸出金残高は、事業性貸出及び個人ローンの増加により、前年同期末対比167億円増加の6,708億円となりました。
- ▶ 事業性貸出は、前年同期末対比151億円増加の3,503億円となりました。
- ▶ 個人ローンは、住宅ローンの増加により、前年同期末対比66億円増加の2,230億円となりました。



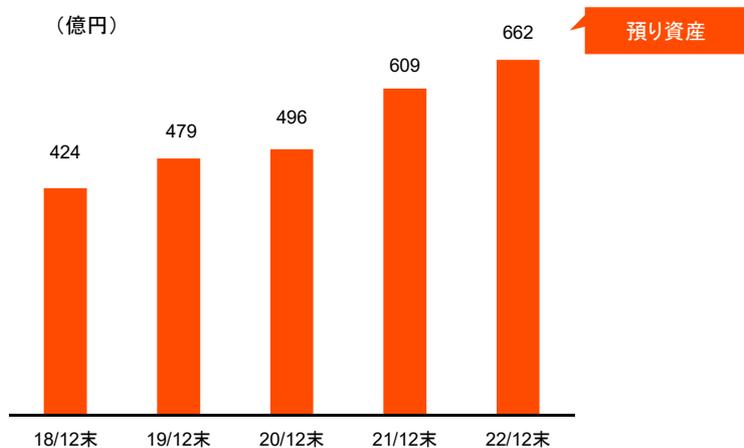
(2) 預金等残高【単体】

- ▶ 預金等残高は、前年同期末対比80億円減少の1兆999億円となりました。
- ▶ 個人預金は、前年同期末対比31億円減少の7,415億円となりました。
- ▶ 個人以外の預金は、前年同期末対比49億円減少の3,584億円となりました。



(3) 預り資産残高*【単体】

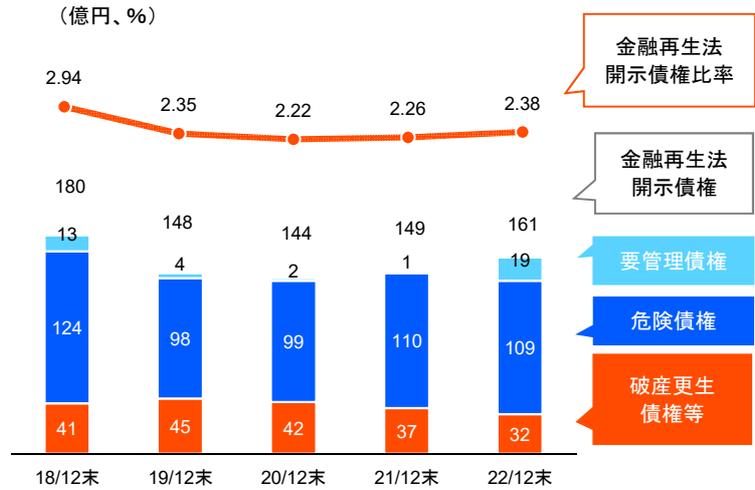
- ▶ 預り資産残高*は、終身保険の増加などにより、前年同期末対比53億円増加の662億円となりました。



* 預り資産残高は、個人年金保険、投資信託、公共債等の合計

3. 不良債権の状況(金融再生法開示債権額)【単体】

- ▶ 金融再生法開示債権額は、前年同期末対比12億円増加の161億円となりました。
- ▶ 金融再生法開示債権比率は、前年同期末対比0.12ポイント上昇の2.38%となりました。
- ▶ 部分直接償却を実施した場合の金融再生法開示債権額は144億円、金融再生法開示債権比率は2.14%となりました。



4. 時価のある有価証券の評価損益【単体】

- ▶ 時価のある有価証券の評価損益(その他有価証券)は、前年同期末対比204億円減少の127億円の評価損となりました。

